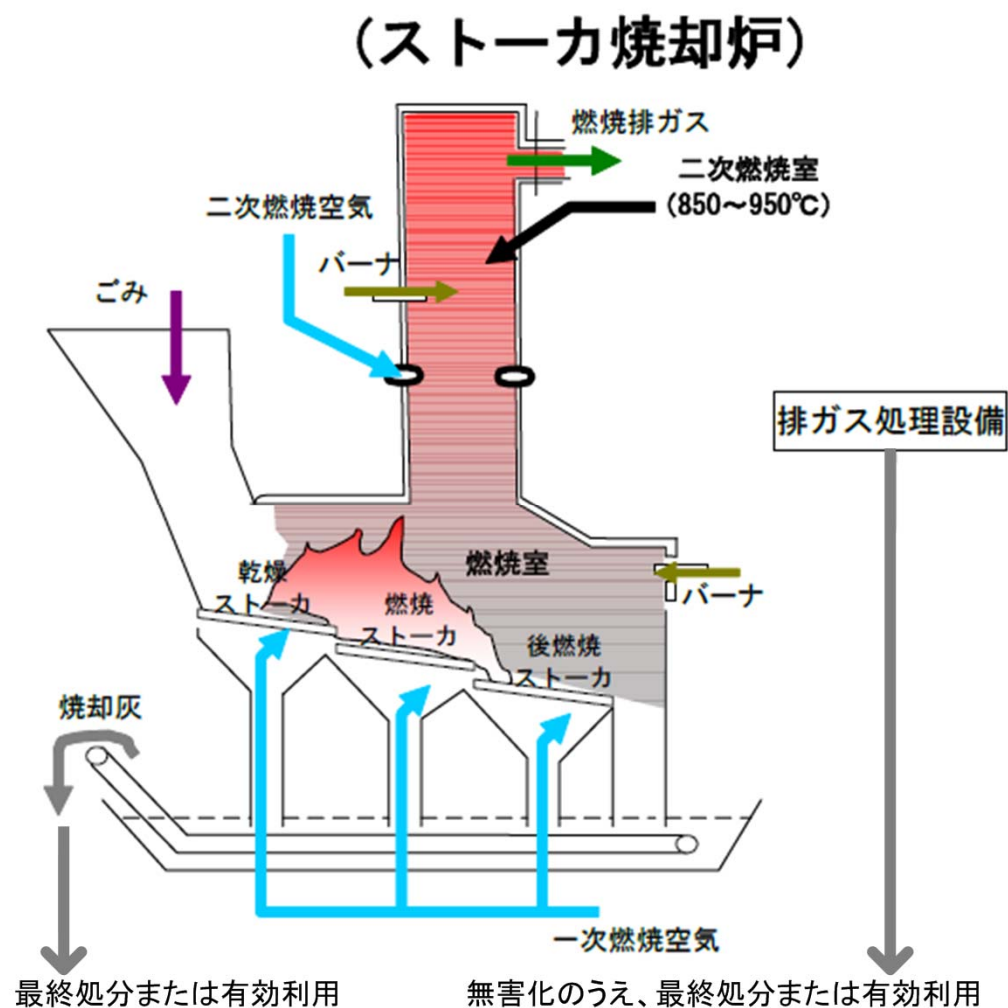


【参考資料】 ストーカ方式



概要

- ・ごみを火格子(ストーカ)上で移動させながら焼却する焼却炉の通称。
- ・焼却残渣等としては、炉下から排出される主灰及び集じん機で捕捉される飛灰がある。
- ・焼却残渣等は、埋立処分又はセメント原料等として再生利用される。
- ・近年の採用実績が最も多い方式である。
※現在、県内はすべて本方式

特徴

- ・緩慢な燃焼特性を持ち、急なごみ質の変動が生じても焼却状況の変化が少ない。
- ・長期間かつ豊富な実績があり、完成された技術とされる。